

第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち

～都市環境の保全・創出～

本市ではこれまで、自然環境との調和をはかりながら、良好な都市環境の整備を進めるとともに、貴重な自然環境を有する緑地の保全につとめ、環境負荷の少ない持続的な発展をめざし、さまざまな環境施策を進めてきました。今後も、都市化の進展やライフスタイルの変化に起因した地球規模で進む地球温暖化の対策や循環型社会の構築に向けて、市民と協働のもと、地球にやさしい環境施策を総合的に進めます。

緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち（都市環境の保全・創出）

施策の体系



*環境リスク……人間の活動によって生じた環境の汚染や変化(環境負荷)が、水や大気などを通じて、人の健康や生態系に影響を及ぼすおそれのこと。

今後、5年間に重点的に取り組む事業

事業名	事業概要	事業費
温暖化防止活動推進事業 (環境総務課)	「所沢市地域省エネルギービジョン」及び「エコ・モビリティ [*] のすすめ」に基づき、率先した環境配慮行動への奨励制度、ノーマイカーデー、環境学習出前講座、環境マネジメントシステムの普及・利用などを、市民・事業者と連携して実施し、地域全体の環境配慮行動を高め、地球温暖化対策を推進します。	百万円 80
	事業期間	平成17年度～平成22年度（継続事業）
街区公園 [*] 築造事業 (みどり公園課)	市街地の中に緑とオープンスペースを確保し、地域のコミュニティ活動の場、防災上の避難場所、市民の憩いの場としての機能をはたす身近な公園を整備します。	百万円 1,000
	事業期間	昭和61年度～（継続事業）
第二一般廃棄物最終処分場整備事業 (廃棄物対策課)	埋立てが完了した北野一般廃棄物最終処分場に替わり、自区内処理の原則から、市内に新たな最終処分場を整備します。	百万円 603
	事業期間	平成11年度～平成24年度（継続事業）

※事業費は5年間の概算予算額で、財政状況によって変動する場合があります。

分野別の主な計画

計画の名称	計画の内容	ページ
所沢市環境基本計画 (環境総務課)	先人から受け継いだ豊かな環境を将来に引き継ぐため、日常生活や事業活動のあり方を根本から見直し、持続的に発展可能な循環型社会を構築します。	P8～9 1節「環境との共生」
	計画期間	平成11(1999)年度～22(2010)年度の12年
所沢市地域省エネルギービジョン (環境総務課)	環境基本計画に定めたエネルギー削減と効率的な利用をはかるとともに、化石燃料代替エネルギーとして新エネルギー利用を視野に入れ、省エネルギー活動を通して市民・事業者の行動を環境配慮型に転換し、地域全体で地球温暖化防止に向けた取り組みを定めた計画です。	P8～9 1節「環境との共生」
	計画期間	平成16(2004)年度～22(2010)年度の7年
所沢市緑の基本計画 (みどり公園課)	緑の目標や将来像を定め、その実現に向けて実施すべきさまざまな施策を体系的に示した、都市の緑全般に関する総合的な計画です。	P10～11 2節「公園・緑地」
	計画期間	平成9(1997)年度～28(2016)年度の20年
一般廃棄物処理基本計画 (廃棄物対策課)	循環型社会の構築をめざして計画的に廃棄物を処理するため、廃棄物の排出抑制及び発生から処分に至るまでの廃棄物の適正処理を推進します。	P14～15 4節「廃棄物・リサイクル」
	計画期間	平成13(2001)年度～27(2015)年度の15年

*エコ・モビリティ……環境にやさしい移動のあり方を意味する言葉で、過度のマイカー利用を見直し、公共交通機関や自転車などを適切に利用することで、クルマ依存型のライフスタイルを見直すこと。

*街区公園……都市で、道路に囲まれた一区画内の住民を対象とした標準的な施設が配置された公園。居住する者の利用に供することを目的とする公園で、標準規模は1箇所当たり面積0.25ha。

第1節 環境との共生

現況と課題

◆現況

地球規模で進行する温暖化やオゾン層の破壊などにより環境問題への意識が高まる中、平成17(2005)年2月、京都議定書^{*}が発効されたことによって、わが国も国際的な責任を果たす役割を担うことになりました。

本市では、環境先進都市として環境施策を充実するとともに、自然環境との調和をはかり、地域の特性を活かした街並みの形成につとめています。さらに、市民参加の機会を拡充し、協働による総合的かつ計画的な各種施策を進めています。

【主な取り組み】

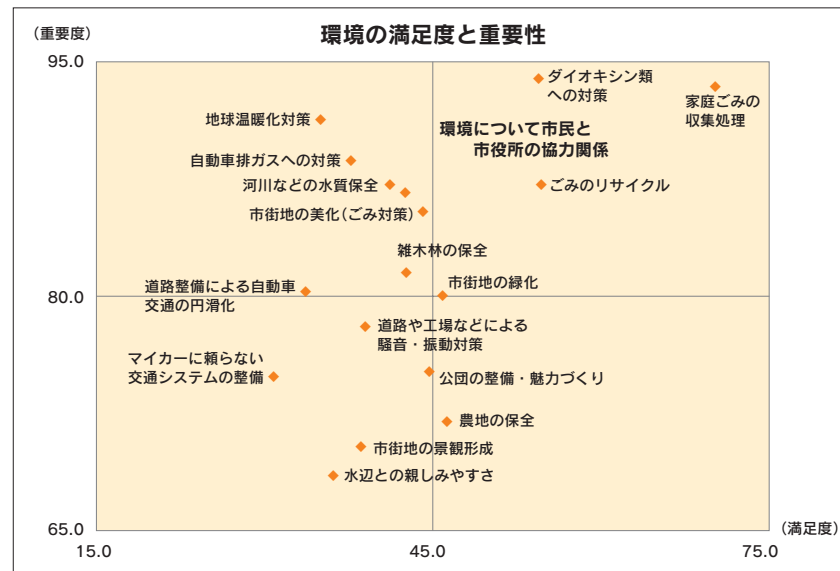
- 「所沢市環境基本計画」を改定し地球温暖化防止のため、重点的に各種事業に取り組んでいます。
- 「所沢市環境基本計画」に基づく「所沢市地域省エネルギービジョン」を平成16(2004)年2月に策定し、各種事業に取り組んでいます。
- 市庁舎・東西クリーンセンター・消防本部・消防署において国際認証規格であるISO14001^{*}(※以下ISO14001)を認証取得するとともに、すべての公共施設で環境マネジメントシステムに基づく環境配慮行動を実施しています。
- 企業によるISO14001の認証取得を支援し、平成17年9月現在、市内49事業所が取得しています。
- 「キッズISO」の取り組みや「子どもエコクラブ^{*}」の設置などを通じ、環境学習の推進に取り組んでいます。

◆課題

- 緑豊かな環境と共生した都市の実現
- 環境負荷の低減、省エネルギー社会の構築
- 地域の特性を活かした都市景観の形成
- 環境保全に係る協働意識の醸成、環境教育・学習の充実

基本方針

- 参加と協働により地球環境の保全と省エネルギー・省資源に努め、持続的な発展が可能なまちをめざします。
- 人と環境との共生をはかりながら、安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。
- 良好な都市景観や美しい街並みの形成に取り組めます。



出典：「所沢市環境基本計画」改訂のための基礎調査(H16)

計 画

1. 地球にやさしいまちづくりの推進

- (1) 総合的な環境施策の推進
「所沢市環境基本条例」や「所沢市環境基本計画」などに基づく環境施策の推進により、自然を大切に、安全で健康な市民生活の実現に取り組みます。
- (2) 循環型社会の実現
市民の日常生活や社会経済活動のあり方を見直し、省エネルギー・省資源につとめるとともにリサイクルなどによる資源の有効利用により、環境負荷を低減した循環型社会の実現をめざします。
- (3) 地球環境の保全
次世代の子供たちに自然豊かな環境を引き継ぐため、地球温暖化やオゾン層破壊など地球規模の環境問題の解決に向け、市民を主体とした環境保全活動を進めます。

2. 魅力ある都市環境の整備

- (1) 都市景観の整備
所沢らしい個性ある景観を創造するため、地域の特性を活かした美しい街並みの形成に取り組めます。
- (2) 人にやさしいまちづくりの推進
高齢者や障害者など、すべての人が安全で快適な生活ができるように、バリアフリー化による暮らしやすさの確保に取り組めます。

3. 環境施策への参加と協働の推進

- (1) 環境教育・環境学習の推進
「所沢市環境基本計画」に基づく目標、施策、行動指針等の普及・啓発をはかるとともに、学習の場の整備と機会の創出を行い、学習活動への支援を充実します。
- (2) 市民、団体、事業者とのパートナーシップの推進
情報の共有化による市民、団体、事業者とのパートナーシップの形成を進め、環境保全のための連携に取り組めます。
- (3) 環境保全に向けた市の率先行動
ISO14001の仕組みを利用し、すべての行政分野で環境負荷の低減をはかるとともに、環境問題の解決に向けて、市民、企業等に環境意識が高揚するよう取り組みます。



環境学習に参加する子どもたち

5年後の目標

指標名	現状値	目標値
所沢市環境基本計画に掲げた目標の達成率	37.5%(H16)	100%(H22)

【説明】 環境施策の進捗状況を示す指標です。
現状値は、環境基本計画に掲げる目標設定項目のうち、目標を達成した項目の割合です。
目標値は、全ての目標項目達成をめざします。

^{*} 京都議定書……1997年12月に開かれた国連気候変動枠組み条約第3回締約国会議(COP3)京都会議において採択されたもので、先進国の温室効果ガス排出量について、具体的な削減数値目標や、目標を達成するための制度や方法まで定めている。
^{*} ISO14001……1996年に国際標準化機構によって制定された「環境マネジメントに関する国際規格」で、組織が環境への負荷を継続的に改善していくためのシステムについて、必要な事項を定めている。このシステムにより、組織活動、製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境配慮行動を進める仕組みの継続的な運用がはかれる。
^{*} 子どもエコクラブ……ふだん自分たちが暮らしている地域の中で、地球環境を守るさまざまな活動を自主的に行っている小・中学生のグループ。平成7年度から環境省が活動を支援している。

第2節 公園・緑地

現況と課題

◆現況

人々の生活にゆとりや潤いをもたらす公園や緑地は、ヒートアイランド現象^{*}の緩和、大気浄化作用、災害の防止からも重要視されています。しかしながら、近年、都市化にともなう雑木林の減少や荒廃が問題となっています。

本市は、狭山丘陵をはじめとした豊かな自然を有しており、その保全のため、市民との協働により貴重な自然環境を有している緑地の保全及び地域の特性を活かした街並みの緑化や公園づくりなどにつとめています。

【主な取り組み】

- 平成13(2001)年から平成17(2005)年度までに、カルチャーパークをはじめとした面積約8.64haの公園や市民の森^{*}など面積約7.11haの緑地を確保・整備し、市民に活用されています。
- 自治会・町内会等による公園の管理運営を通じて、地域に根ざした公園づくりを推進しています。39公園/153公園
(自治会・町内会による委託公園数/公園数)
- 雑木林の下草刈り作業や、市内各所での草花の植付けなど、市民との協働による緑地の保全に取り組んでいます。

◆課題

- 狭山丘陵等の良好な緑地の保全
- 市民参加による雑木林の維持管理
- 相続などにより減少する雑木林の保全
- 市民等の協力による緑豊かな市街地づくり
- 市街地のオープンスペースの確保
- 地域住民との協働による公園づくり

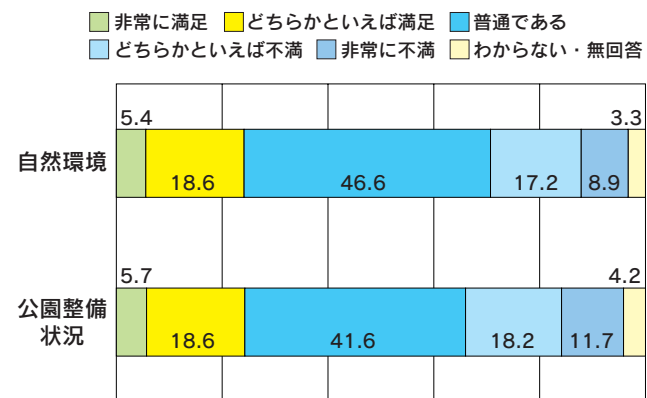


上山口から狭山湖堰堤方面の緑を望む

基本方針

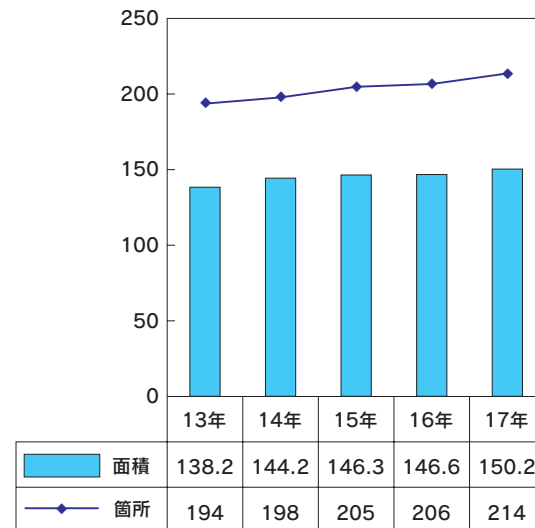
- 市民の参加と協働による地域の特性を活かした公園づくりを進めます。
- 貴重な自然環境を有する緑地を、所有者の理解を得ながらさまざまな手法により保全に取り組みます。
- 市民、地権者、行政による保全管理の手法の検討を行い、雑木林の保全・再生・活用につとめます。

■自然環境と公園整備の満足度



出典：市民意識調査(H15)

■公園・緑地の確保・整備面積(ha)の推移



資料：みどり公園課

計 画

1. 総合的な緑地施策の推進

「所沢市緑の基本計画」の進行管理を行い、緑地の保全と緑化の推進を総合的に進めます。

2. 公園の整備

- (1) 地域の特性を活かした公園の築造
地域住民の意見を聴きながら、地域の特性を活かした公園の築造を進めます。
- (2) 市民参加による公園の維持・管理
公園が地域住民により一層親しまれるように、市民参加による公園の維持管理を進めます。

3. 緑地の保全・再生・活用

- (1) 自然豊かな緑地の保全
貴重な自然環境を有する緑地を、保護地区^{*}や市民の森などの制度を有効に使い緑地の保全に取り組みます。
- (2) 荒廃した雑木林の再生・活用
市民参加により、荒廃した雑木林の再生や維持管理を行い、里山の景観の復元を進めます。
- (3) 野生生物の生息・生育環境の確保
豊かな自然環境を有する緑地をさまざまな手法で保全し、生き物の生育環境等の確保もはかります。

4. 緑の創出

- (1) 市民との協働による緑化の推進
建築物の屋上や壁面の緑化、町内会等の苗木の植付けなど、市民との協働により緑化を進めます。
- (2) 緑で災害に強いまちづくり
災害を防止・緩衝する機能が十分発揮できるような緑の創出に努めます。
- (3) 緑を知りふれあう機会の充実
緑の重要性を理解し、関心を高めるために、自然環境学習などの機会を充実します。



所沢カルチャーパーク・デイキャンプ場

5年後の目標

指標名	現状値	目標値
市民一人当たりの都市公園・緑地面積 (公園の面積)	6.61㎡(H16) (3.47㎡)(H16)	11.73㎡(H22) (6.21㎡)(H22)
【説明】公園・緑地整備の取組状況を示す指標です。 現状値は、都市公園法に規定する公園面積と、都市公園以外の公共施設緑地(公有地など)を含んでいます。目標値は「所沢市緑の基本計画」で示した数値です。 (市民一人当たりの都市公園面積)		

^{*}ヒートアイランド現象……自然の気候とは異なる都市独特の局地的気候で、都市にコンクリートやアスファルトなどの人工物が集中したことによる蓄熱とエアコンなどの人工的な排熱の増加により、都市部ほど気温が高くなる現象。
^{*}市民の森……市民にこの場の緑地として提供するために「所沢市民の森設置要綱」に基づき、指定された主として樹木によって形成される2ha以上の土地。
^{*}保護地区……「所沢市緑化推進条例」に基づき、所有者等との協議により指定された300㎡以上の良好な緑地。樹木の伐採等を行う場合には届出が必要となる。

第3節 住宅環境

現況と課題

◆現況

少子高齢化、新たな防犯・防災対策の必要性、マンション居住者の増加など、住宅を取り巻く環境が変化しています。さらに、循環型社会づくりのための雨水利用・省エネルギー住宅*など、新たな視点に立った住環境の整備が求められています。

市では、土地区画整備事業等により計画的なまちづくりを進め、災害等に強い住環境の整備につとめています。

【主な取り組み】

- 市営住宅808戸の適正管理につとめています。
- マンションの建替えや修繕などの問題に対応する窓口を設置しています。
- 土地区画整理事業などに併せて、町名地番の整備を進めています。

◆課題

- 循環型社会の視点に立った住宅づくり
- 高齢者等の居住形態に合わせた住宅品質の向上
- 増加するマンション居住者への支援
- 新たな社会ニーズに対応した住宅セーフティネット*の再構築

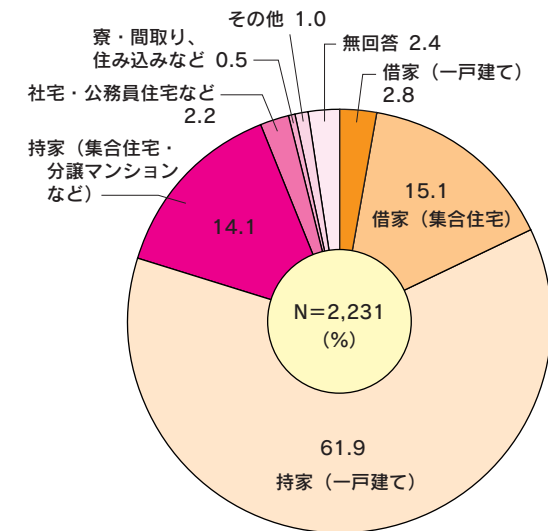


整備された住環境(中富南部)

基本方針

- 誰もが安心して暮らせる住宅や住環境の向上を総合的に進めます。
- 循環型社会の視点に立ち環境に配慮した住宅施策を進めます。
- 市営住宅の適正な運営、維持管理を行います。

■市民の居住形態



出典：市民意識調査(H15)

■住宅に住む一般世帯の面積

	1世帯当たり 人員(人)	1世帯当たり 延べ面積(m ²)	1人当たり 延べ面積(m ²)
持ち家	3.08	97.6	31.7
公営の借家	2.46	54.7	22.2
民営の借家	1.94	42.2	21.8
給与住宅	2.71	56.5	20.8
間借り	2.44	46.9	19.2

出典：国勢調査(H12)

計 画

1. 総合的な住宅施策の推進

誰もが安心して暮らせる住宅や住環境の向上を進めるため、所沢市の住宅行政の指針となる計画を市民との協働により策定し、総合的な住宅施策を推進します。

2. 良好な住宅・住環境の整備

(1) 環境にやさしい住まいづくりの推進

自然と調和し、ヒートアイランド現象の低減をめざし、省エネルギー、省資源、高耐久性、解体時の処理等、環境に配慮した住まいづくりを促進します。

(2) 災害・犯罪に強い住宅・住環境の整備

大規模地震や火災などの災害や侵入窃盗などの犯罪に強い住宅、住環境の整備を促進します。

(3) 高齢者・障害者に配慮した住宅の整備

高齢者・障害者が安心して住み続けられるように住宅の改善・整備を促進します。

(4) 町名地番の整備

まちのイメージアップや郵便、消防、救急などの市民生活の利便性を高めるため、地域住民の参加と協力を得ながら、土地区画整理事業や大規模な宅地造成等に併せて、町名地番を整備します。

3. 公共賃貸住宅の充実

(1) 市営住宅運営の充実

住宅に困窮した経済的弱者の居住の安定をはかるため、低廉な家賃で住むことのできる市営住宅を公平性や効率性が、一層適正になるよう運営します。

(2) 住宅セーフティネットの再構築

経済・社会情勢等の変化の中で、母子世帯、障害者、高齢者やドメスティックバイオレンス被害者等の居住の安定の確保を進めます。

4. 住宅問題の対応

マンションの建替え、修繕、共有部分の利用などの問題や住宅建設に関する問題に対応するため相談体制を充実します。



整備された住環境(中心市街地)

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
居住環境の満足度	60.4%(H17)	現状値以上(H22)

【説明】 住宅環境施策の成果を測る指標です。

現状値は、市民意向調査(H17)の「地域の街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光・通風などの住環境に満足していますか」との設問に「はい」と回答した人の割合です。目標値は、「現状値以上」をめざします。

*省エネルギー住宅……1999年3月に改正された住宅の省エネルギー基準(次世代省エネルギー基準)に適合して、室内環境を一定に保ちながら、使用するエネルギー量を少なくできる住宅のこと。

*住宅セーフティネット……賃貸住宅や住宅資金を提供するなどして社会的な弱者が安定した居住の場所が確保されるようにしていく社会の仕組み。公営住宅が中心的に担ってきており、この役割を適切に果たすことが求められている。

*ドメスティック・バイオレンス(DV)……配偶者(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む)や恋人からの身体的、精神的、経済的な暴力。

第4節 廃棄物・リサイクル

現況と課題

◆現況

循環型社会の形成に向け、資源の消費を抑え環境に対する負担を小さくしようという意識は社会全体の中で年々高まりをみせています。

こうした中、市では、一層のごみの減量化や資源化を進めるとともに、第二一般廃棄物最終処分場やし尿処理施設の整備、不法投棄問題への対応などに取り組んでいます。

【主な取り組み】

- ごみの減量化や資源化を推進し、ごみの排出抑制や資源化率の向上をはかっています。
 - ・ごみ収集8分別の徹底
 - ・古着・古布、廃食用油、陶磁器、生ごみ等の回収事業
 - ・集団資源回収事業 など
- 東部クリーンセンターの完成により、安定的なごみ処理体制を整備し、運営しています。
- リサイクルふれあい館「エコロ」を中心として、ごみ減量やリサイクルなどに関する啓発を推進しています。
- 不法投棄を防止するため、市でのパトロールをはじめ、関係団体と連携した通報・監視体制を整備しています。

◆課題

- ごみの減量化と資源化に対する啓発及び推進
- ごみの適正処理の推進
- 第二一般廃棄物最終処分場の整備
- し尿処理施設の整備
- 不法投棄監視体制の充実

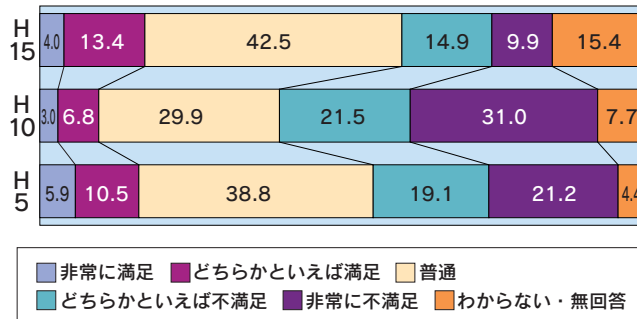


東部クリーンセンター全景

基本方針

- ごみ減量・リサイクル意識の啓発と普及に取り組み、分別収集したごみの資源化を進めます。
- 一般廃棄物最終処分場やし尿処理施設の整備を進めます。
- 不法投棄の防止につとめます。

■ごみ・し尿処理に対する市民満足度の推移



出典：市民意識調査(H15)

■ごみ処理量及び総ごみ量の推移

年度	年間総処理量(t)	
	ごみ処理量	総ごみ量
12	119,988	131,624
13	123,243	133,962
14	126,981	137,571
15	126,063	137,145
16	119,062	130,947

※総ごみ量=ごみ処理量に集団資源回収量・ファイバーリサイクル回収量等を加えた量

出典：清掃事業概要(H17)

計 画

1. ごみ減量とリサイクルの推進

(1) ごみの減量の推進

「一般廃棄物処理基本計画」に減量目標等を定め、リサイクルふれあい館「エコロ」を中心とした市民、団体、事業者に対するごみの発生抑制と排出抑制の啓発を進めるなど、目標達成に向けた事業を実施します。また、ごみの排出量に応じた負担の公平化についての検討を行います。

(2) リサイクルの推進

ごみ処理過程における可能な限りのリサイクルに取り組みます。また、家庭の生ごみの資源化や集団資源回収団体等への支援を進めます。

2. 適正処理の拡充

(1) ごみ処理施設・資源化施設の適正な運営管理

ごみ焼却施設・資源化施設において、法令を遵守し、効率的な施設の運営管理に取り組みます。

(2) 最終処分場の整備

埋立完了となった北野一般廃棄物最終処分場に代わる新たな処分場の整備に向けての計画を進めます。

(3) 収集体制の整備

ごみを安定的に収集するとともに、ごみの減量化・資源化を目的とした収集体制の整備を継続的に進めます。

3. し尿処理の充実

し尿及び浄化槽汚泥については、公共下水道の荒川右岸流域下水道への接続替えにともない、浄化センターに代わる新たな処理施設の整備を進めます。

4. 不法投棄対策の充実

(1) 不法投棄防止体制の充実

廃棄物の不法投棄を防止するため、棄てられやすい場所を定期的にパトロールします。不法投棄物は速やかに撤去し、新たな不法投棄の誘発を防ぎ、生活環境の保全につとめます。

(2) 産業廃棄物の不法投棄や不適正保管の防止

産業廃棄物の不法投棄及び不適正保管を防止するため、県と連携して、初期対応、監視、指導を行います。



牛乳パックを利用したおもちゃづくり (リサイクルふれあい館)

5年後の目標

指標名	現状値	目標値
市民1人当たりのごみ排出量	969g/日(H16)	945g/日(H21)
【説明】 ごみの減量施策の取組状況を示す指標です。現状値は、市のごみ処理量(集団資源回収量等を除く)に対する市民一人一日あたりの量です。このうち家庭ごみの割合は約70%です。目標値は、「所沢市環境基本計画」に示した数値です。		
リサイクル率	21.3%(H16)	30%(H21)
【説明】 リサイクル施策の取組状況を示す指標です。現状値は、市の総ごみ量に対する資源化量の割合です。目標値は、「所沢市環境基本計画」に示した数値です。		

第5節 環境保全

現況と課題

◆現況

市民の日常生活や社会経済活動から生じる環境への負荷は、私たちを取り巻く環境にさまざまな影響を及ぼしています。

本市の大気汚染や水質汚濁については、一定の改善がなされているものの、一部の環境基準項目が達成されていない状況にあります。また、化学物質による環境汚染も懸念されるなど環境問題は新たな広がりを見せています。

さらに複雑・多様化する生活環境問題の中で、歩行喫煙による迷惑行為や路上の立て看板による美観の阻害など、新たな課題も出てきています。

【主な取り組み】

- 大気汚染や水質汚濁の原因となるばい煙や排水などの定期的な立入調査を実施しています。
- 大気や水循環の状況を把握するため、大気汚染や水質汚濁の原因となる物質の調査・測定を行っています。
- ダイオキシン類による環境の汚染を防止するため、発生源への定期的な立入調査を実施しています。現在、大気中のダイオキシン類濃度は、環境基準を満たしており、低減傾向にあります。
- 土壌環境の安全を確保するため、有害物質取扱事業者や実施者等に対して、土壌の汚染や土砂のたい積に関する指導を行っています。
- 環境推進員*を中心に、春秋に「環境美化の日」として市全域で「一斉清掃活動」を実施しています。
- 生活環境の衛生・美化対策として、ポイ捨て防止や路上立て看板の撤去などに取り組んでいます。

◆課題

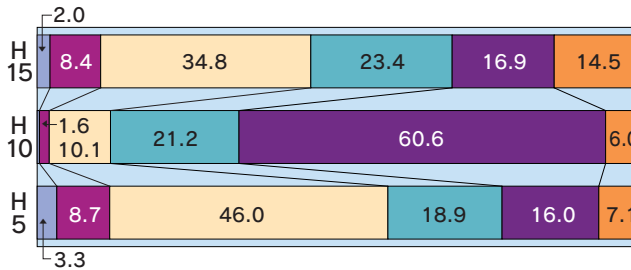
- 大気・水環境の一層の改善と監視体制の充実
- 土壌汚染対策や土砂対策の充実
- 化学物質による環境汚染の防止
- 衛生的で快適な生活環境の確保
- 地域環境保全活動の推進

*環境基準……環境基本法第16条に基づき、人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準。
 *ダイオキシン類……ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナーポリ塩化ビフェニル(Co-PCB)を合わせた総称。塩素の数が配置により200数十種の仲間があり、廃棄物の焼却やパルプの塩素漂白、塩素系農業製造などの各過程で非意図的に生成される。
 *環境推進員……健康で快適な生活環境をつくるために行う地域での環境美化活動などの推進役となる市民。町内会や自治会等が推薦し、市長が委嘱する。約1,000名が委嘱されている。
 *浮遊粒子状物質(SPM)……大気中に浮遊している粒子状物質で直径が10マイクロメートル以下のもの。主に工場の事業活動や自動車の走行にともない発生し、慢性的呼吸器疾患の原因とされる。
 *生物化学的酸素要求量(BOD)……水中にある有機物を、微生物が分解するときに消費する酸素の量。水質の汚染を示す指標のひとつで、ppmで表す。
 *浮遊物質(SS)……水中に浮遊している物質の量のことをいい、数値が大きいくほど、その水の濁りが多いことを示す。

基本方針

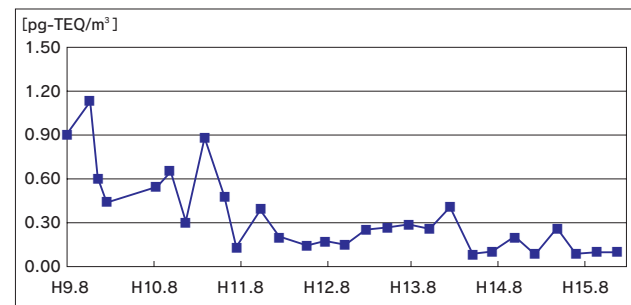
- 大気汚染や水質汚濁などの発生源対策を進めます。
- 大気・水環境などの監視体制を充実します。
- 化学物質の管理を推進し、環境汚染を防止します。
- 環境推進員をはじめ市民の環境保全活動を支援し、環境保全行動を進めます。

■大気・水質等の環境対策に対する市民満足度の推移



出典：市民意識調査(H15)

■大気中のダイオキシン類濃度の推移



資料：環境対策課



市民参加で行った河川の清掃と魚類生息調査

計 画

1. 大気環境の保全

- (1) 大気汚染の発生源対策の推進
大気汚染発生源（ばい煙発生源施設・粉じん発生源施設など）への立入検査を実施し、各施設から排出される汚染物質の削減に取り組みます。
- (2) 大気環境の監視測定体制の充実
大気汚染の状況を常時監視するため、必要な測定機器の整備や測定の実施など監視測定体制を充実します。

2. 水・土壌環境の保全

- (1) 水質汚濁の発生源対策の推進
水質汚濁発生源（特定事業場など）への立入検査を実施し、各事業所から排水される汚濁物質の削減に取り組みます。
- (2) 土壌環境の安全の確保
土壌環境の安全を確保するため、有害物質による土壌の汚染や無秩序な土砂のたい積の対策に取り組みます。
- (3) 水環境の監視体制の充実
河川などの公共用水域の水質汚濁の状況を常時監視するため、測定機器の整備や測定の実施など監視測定体制を充実します。

3. 化学物質の環境リスク対策の充実

- (1) 化学物質の管理の強化
環境保全上の支障を防止するため、化学物質の取扱い事業者の自主的な管理の改善・強化を進めます。

- (2) ダイオキシン類対策の推進
ダイオキシン類による環境の汚染を防止するため、廃棄物焼却炉などへの立入検査を実施し、各施設から排出されるダイオキシン類の削減に取り組みます。

4. 生活環境・環境衛生の向上

- (1) 騒音・振動、悪臭対策の推進
騒音・振動、悪臭の発生源への検査や指導を行います。また、家庭生活から発生する騒音などの防止のため、市民への啓発や情報提供を進めます。
- (2) 環境衛生対策の推進
環境衛生・公衆衛生の維持・向上のため、狂犬病の予防や衛生害虫対策などを進めるとともに、ポイ捨ての防止や路上の立看板の撤去などの環境美化対策に取り組みます。
- (3) 公害等の相談制度の充実
市民から寄せられる公害等の相談に対して、迅速かつ適切に対応します。
- (4) 環境推進員活動への支援
環境推進員を中心とした地域の自主的な環境保全活動を支援します。
- (5) 斎場の整備・充実
斎場の運営管理を適切に行うとともに、火葬炉の老朽化に対応するため、増設・改修を進めます。

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
大気環境に係る環境基準の適合率	83%(H16)	100%(H22)
【説明】 大気環境の状況を示す指標です。現状値は、二酸化窒素(NO ₂)や浮遊粒子状物質(SPM)*などの調査項目が環境基準に適合した割合です。目標値は、「所沢市環境基本計画」に示した数値です。		
水質環境に係る環境基準の適合率	88%(H16)	100%(H22)
【説明】 水質環境の状況を示す指標です。数値は、生物化学的酸素要求量(BOD)*や浮遊物質(SS)*など、生活環境に係る調査項目が環境基準に適合した割合です。目標値は、「所沢市環境基本計画」に示した数値です。		